

科目概要、お持ちもの等連絡事項

(聖徳大学免許法認定公開講座)

令和4年度 冬期・春期開設科目

担当講師

国語科教育法

聖徳大学大学院教授 廣部 泰紀

【概要】

学習指導要領や小学校をはじめとした我が国の学校教育の今日的課題等を踏まえ、小学校における国語科教育法について取り組みます。ついでには、説明や講義の時間を可能な限り少なくし、グループをつくるなど、複数の受講者による話し合いや発表等により、受講者のこれまでの学校現場での経験を生かしたり共有したりすることのできる、いわゆる演習の場面を多く設定する予定です。なお、新型コロナウイルス対策の状況により、内容が変化する可能性があることが考えられます。

【連絡事項】

筆記用具以外は、特にありません。授業内試験（レポート）を実施予定。

図画工作科教育法

聖徳大学准教授 西園 政史

【概要】

この講座では、講義と教材研究を通して、図画工作における「見方・考え方」を理論と実践の両面から理解する。その中から、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」がどのような活動のもとに成立するのかを、受講者同士で意見交換しながら理解に結び付けていく。さらに、新学習指導要領・図画工作の特徴について、指導方法や授業の組み立てとともに理解し、題材の分析、題材の選択、指導案の作成、模擬授業、授業評価などができるようになることを目的とする。

【教科書】

文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』日本文教出版 110円

【連絡事項】

スケッチブックまたは画用紙10枚程度（八つ切り程度）、クレヨン、水彩絵の具、筆、パレット（筆洗バケツは不要）、はさみ、のりを持参してください。後日提出レポートを実施予定。

保育内容指導法Ⅰ（健康）

聖徳大学兼任講師 佐野 裕子

【概要】

この講座では、『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』に示されている「幼稚園教育の基本」をふまえ、領域「健康」のねらい及び内容、指導上の留意点などについて具体的に学び、小学校教育とのつながりや、領域「健康」における保育のあり方を理解する。また、幼児の心身の発育・発達や健康的な生活を営むための基礎理論を理解し、心身ともに健康な子どもを育成するための実践的知識を習得する。併せて、現代社会における幼児の生活課題について理解を深め、園や家庭、地域社会の健康を支える教師の支援の在り方について考究する。

【教科書】

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』フレーベル館 264円

【連絡事項】

・ハサミ、セロテープの持参（1日目〔3月25日(土)〕の授業内で使用する予定）。授業内試験（レポート）の実施。

保育内容指導法Ⅱ（言葉）

聖徳大学短期大学部教授 東川 則子

【概要】

『言葉』について学ぶ上で、言葉の機能、言葉の獲得や発達過程の理解は重要であるため、テキストを用いて学びを確認したい。

平成30年度より実施された幼稚園教育要領においては、幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示された。その中には、『言葉による伝え合い』や言語活動の充実を図ることの重要性が挙げられている。これらについては、幼稚園教育要領解説を用いて学んでいく。教材についても重要性が示されたことから、受講生各自が持参する絵本を通して、また、実際に言葉遊びを行うことで、実践的に学んでいく。言葉に関する障害の種類や指導の在り方、さらには、外国人幼児への指導の在り方、幼小連携からの文字の指導などについては、テキストや具体的な姿(事例)を提案し合い、学びを深めていく。

【教科書】

(1) 文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』フレーベル館 264円

(2) 塩 美佐枝・藪中 征代・東川 則子・古川 由紀子・川並 珠緒・古川 寿子著『言葉の発達を支える保育』聖徳大学出版会 1,760円

【連絡事項】

3～5歳児向けに読み聞かせをする絵本を2冊持参。後日提出レポートを実施予定。

【概要】

幼児の造形に関する基礎的な知識・理解を獲得するとともに、表現と鑑賞の実践的な能力の向上を図ることを目的とし、演習を通して造形ワークショップや対話型鑑賞の目的、手法、ファシリテーターの役割等について学びます。

また、学習指導要領で求められているアクティブラーニング「主体的・対話的で深い学び」について、造形教育においては、以前より直接的で身体的表現を重視した手法で活動が行われてきました。しかし、コロナ禍の状況下では、身体的な距離を保ちつつ、これらの活動が充分に実現できるような新たな工夫が必要となっています。ICTなども活用した事例の紹介や、活動の工夫などについても紹介しつつ、これからの保育のあり方について参加者とともに考えていきます。

【教科書】

北沢昌代・畠山智宏・中村光絵 著『子どもの造形表現—ワークシートで学ぶ—第2版』開成出版 2,640円

【連絡事項】

水彩絵具（12色チューブ入り）、筆、パレット、筆洗バケツ、クレヨン、色鉛筆、マーカー、はさみ、のり（スティックのり）、カッター、定規（30cm）、デジタルカメラ（スマートフォンも可）。授業内試験（レポート）を実施予定。

教育原理

聖徳大学教授 森 貞美

【概要】

情報技術の革新及びグローバル化の進行などの社会変化とともに教育の在り方も新たな対応が求められている。本講座では、教育の理念と目的、教育の歴史と制度について概観し、今日における教育改革の課題について考えることにする。主に教育の本質と目的、教育の歴史的変遷と思想、教育制度の基本原則と教育法規、現在の社会の変化と教育の現状、教育の課題について取り上げ、理解を深めていく予定である。

【連絡事項】

教科書は使用しません。当日、資料を配付します。授業内レポートを実施予定。

【概要】

発達心理学は、胎児期から老年期までの心理的成長や変化を対象とする。本講座は、このような生涯発達の視点を取りながら、主に幼児期から青年期までの発達を取り上げ、幼児、児童及び生徒の心理を理解し、発達に応じた支援について考える。子どもの言語発達、認知発達、社会性の発達、青年期の自己など心身の発達の基礎的知識について解説すると同時に、動機づけや学習理論など子どもの主体的な学習活動を促すような概念や理論についても学び、子どもの発達に応じた指導や支援について経験を踏まえて考察する。保育や教育における子どもの抱える問題を発達心理的にとらえることができることを目的とする。

【教科書】

次郎丸睦子・五十嵐一枝・相良順子・芳野道子・高橋淳一郎編著 『現代の子どもをめぐる発達心理学と臨床』 福村出版 2,640円

【連絡事項】

後日提出レポートを実施予定。

道徳教育の指導法

【概要】

学習指導要領に記載されている「道徳教育」「特別の教科道徳」の目標、内容、指導計画及び内容の取扱い、授業の在り方などについて、基本的な考え方や指導方法について理解することを主な目的とする。内容は、学習指導要領に示されている目標と内容、特質に基づいた指導理論を扱う。学校で即戦力として役立つ具体的・実践的な事例にも触れるとともに、学習指導案の作成を行う。

【教科書】

- (1) 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』東洋館出版社 324円
- (2) 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科道徳編』廣済堂あかつき 148円

【連絡事項】

後日提出レポートを予定。

【概要】

次の4点を到達目標として講義します。①子どもたちに育みたい資質・能力と教師に求められる授業力、及び「主体的・対話的で深い学び」をつくるための授業デザイン、指導技術、評価方法の考え方を説明できる。②授業を行う上での基礎的な指導スキルを身に付け、効果的で魅力的な授業設計・実施・評価の考え方に基づく学習指導案を作成することができる。③「主体的・対話的で深い学び」の実現と特別支援教育・オンライン教育に向けた情報通信技術の活用について説明できる。④情報活用能力を育成するための「一人1台端末の活用教育」、「プログラミング教育」、「情報モラル教育」について説明できる。

【教科書】

- (1) 稲垣忠編著 『教育の方法と技術 ―主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザイン』 北大路書房 2,420円
(2) 稲垣忠・佐藤和紀編著 『ICT活用の理論と実践 ―DX時代の教師をめざして―』 北大路書房 2,200円

【連絡事項】

後日提出レポートを実施予定。

教育相談（カウンセリングを含む）

聖徳大学教授 沢崎 真史

【概要】

学校や幼稚園の中での教育相談活動は、現在ではスクールカウンセラーなど専門家が学校や幼稚園で活躍する時代になりつつあるが、まだまだ時間的にも不足しており、十分に機能しているとは言えない。その意味で、子どもや保護者に一番近い存在である教員の教育相談活動が重要となる。今回の授業では、カウンセリングの基礎的な学習を通して、学校や幼稚園にいる子どもたちや保護者への援助について考えていくとともに、学校心理学の観点から、学校や園にいるすべての子どもたちを視野にいれた援助についても考えていきたい。講義と体験学習を通して、新しい発見をしていただければと思う。

【連絡事項】

当日、資料を配付します。授業内レポートを実施予定。

肢体不自由者教育

聖徳大学大学院教授 河村 久

【概要】

肢体不自由のある幼児児童生徒の教育的ニーズを理解し、その教育の在り方について学習する。

主な内容は、1. 肢体不自由児の理解と教育制度、2. 肢体不自由の起因疾患に対応した教育的配慮、3. 肢体不自由教育の教育課程と指導の特徴、4. 自立活動の考え方と個別の指導計画、5. 障害の状態や発達等に応じた教育指導の工夫、6. 個別の教育支援計画による一貫した支援などである。授業方法としては、講義が中心となるが、受講者間の意見交換やワークショップ形式を採り入れ、主体的な学びとなるよう配慮する。評価は、授業内試験（レポート）を行う。

【教科書】

聖徳大学特別支援教育研究室編『改訂2版 一人ひとりのニーズに応える保育と教育―みんなで進める特別支援―』聖徳大学出版会 1,760円

【連絡事項】

当日、配付する資料を使用します。授業内試験（レポート）を実施予定。

【概要】

特別支援教育が始まり、幼稚園、こども園や保育の場、小・中学校の通常学級の中でも発達障害である学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、自閉症スペクトラム障害（ASD）の幼児・児童・生徒（LD 等障害者）に対する合理的配慮が欠かせない。本講座では、LD 等障害者についての診断基準や心理特性、支援法についての講義を行う。また、具体的なアセスメントや支援のあり方について、事例に触れることによってさらに理解を深めるとともに、LD 等障害者の幼児・児童・生徒に対する教育課程及び指導の実際についても学んでいく。

【連絡事項】

教科書は使用しません。当日、資料を配付します。授業内レポートの実施を予定。